



# 紙とも子参議 4期目の当選!

## 真下道議 転売問題で鈴木知事を追及

### 党と立憲野党へのご支援に感謝

7月21日の参議院議員選挙で、夕張市内では比例区で552票、得票率13%で全国で4人が当選。



紙とも子候補は4選を果たしました。

北海道選挙区のはたやま和也候補は、市内で475票、全道で265,862票、4位で残念ながら議席に届かず、全選挙区では3人が当選しました。

全国の1人区では、10選挙区で野党統一候補が当選し、「改憲勢力で3分の2の議席を占めることをストップ」させることができました。

画も出さず、5年

### 異例の再採決

夕張市特定財産売却選考委員会には、投資計画も出さず、5年

7月3日の道議会において、日本共産党の真下紀子道議は、「地域に根差して営業を継続」という口約束だけで、夕張市の観光施設を破格の安値で提供し、結局は転売されてしまうという問題が起これ、夕張市民の宝である資産の売却利益や、雇用を守る約束など、本来の夕張市の利益となる目的を失う結果となったのではないかと。鈴木知事が市長時代に「契約に転売禁止の規定を盛り込ま

### 真下道議の質問



7/4 HTB ニュースより

「口約束を信じ、転売禁止条項を付けなかった」ために、この転売により夕張市は事業継続、雇用継続などにつ

### 問題点

方針の履行確認ができなくなっています。

## 夕張リゾート転売問題 口約束で市民に損失

「市の方針に沿った説明があった」と回答し、それ以上の具体的な答弁はありませんでした。(鈴木市長(当時)は2017年2月8日の夕張市議会で「呉之平社長が転売しないと誓っているので転売禁止条項はつけない」と答弁)

いて、働きかけはできないものの当初の基本



7/4 HTB ニュースより

選考委員会が優先交渉権者として元大リアルエステートに決定した後、「さらなる状況確認と契約の是非を含めて検討する」としていた

間の転売禁止規定について、元大社長は「売らない、納税はする」と述べ、転売禁止条項を拒否。A4の紙1枚と、100億円投資すると口頭でのプレゼンのみでした。ファンドへの転売も示唆したため、疑問が続出。市民に公開して再討議が必要との発言もあり、全会一致にならず、3年間は指定管理者で様子を見るべき、売却先としては不安などの意見が次々と出され、「売却契約の優先権を与えるべきではない」という委員が過半数となり、「元大に売却しない」という採決結果が出ました。

### 《これまでの経緯》鈴木知事が夕張市長だった2017年2月、夕張市が売却したのは「MT.レーススイスキー場」「ホテルMT.レーススイ」「ホテルシューパロ」「ファミリースクールひまわり」の計4施設、売却額は総額で約2億3600万円です。

施設は一部が老朽化し、多額の改修費が必要といわれるものでした。

しかし、当時「千歳空港に乗り入れているLCC系航空会社から約10億円で購入希望」を提案されていたのに取り合わず、元大リアルエステート子会社・元大夕張リゾートに売却を決めた」ということが最近になって明みにできました。

売却から2年後の今年3月、「元大リアルエステート」が香港系ファンドに推定15億円(会社組織を含む)でこれらを転売したことが、新聞報道されました。

### 市議会への報告

### 売却の決定は正当か

「選考委員会でも多少の不安の声はあったが、長時間かけて論議をした。入札した中で、一番高額であり、長野でスキー場を経営した経験等、結論としてこの会社を選考した」(ここで市議会に反対されると、時期も時期であり、従業員の雇用の継続が失われる」との説明でした。

### 相次ぐ担当者退職

### なぜ元大に売却?

この「選考委員会」の担当職員(道からの派遣)は、売却決定後に「元大夕張リゾート」に役員として天下り。さらに、当時の担当課長は、4月末で市役所を早期退職しました。

# 夏のつどい開催 市内3か所で!

日本共産党夕張総合後援会主催の『夏のつどい』が、昨秋に続き、7月5日、9日、11日の3日間、市内3ヶ所で開催されました。

参議院選挙の最中でしたが、南地区(紅葉山)・中央地区(南清水沢)・北地区(末広)に集まった延べ40名の参加者たちの最大の関心事は、「2千万円不足する年金問題」でした。つどいの冒頭、後援会の世話人が挨拶し、くまがい桂子市議から、「くらしに希望を・共産党の3つのプラン」についての説明がありました。参加者から、質問が相次ぎ「これまでも、年金が減らされ続け、そのうえ2千万円貯めろという、安倍政権をなんとかしてほしい」との発言がありました。



くまがい市議は「共産党は、大企業や大金持ちの税率を元にもどし、アメリカの兵器の爆買い等をやめるだけで、7兆円は確保できますので、マクロ経済スライドを廃止します。さらに、低年金者に対しては、当面月額5千円を支給します」と答えました。

そのほかにも、市内の救急体制の問題やリースイススキー場の転売問題などが話題に上がり、どの会場も参加者から「今度の選挙、共産党に伸びてもらわなくちゃ」とのご意見などが寄せられました。



## くずさんの 夕張歴史散歩(116)

明治維新 32 / 朝鮮干渉 ⑬

### 朝鮮の民族運動が高揚

閔妃暗殺事件の後、朝鮮では反日の運動が活発化します。

政府内では支配者間の対立も深まり、反日派は、ロシア公使とむすんでクーデターを起こし、国王の高宗をロシア公使館に移し(露館播遷)、親日派から政権を奪い取りました。これによってロシアの勢力は増大します。

これに対し、1896年(明治29年)から98年にかけて、「独立協会」を中心にロシアの侵略に反対する民族運動が高まります。

その激しい運動の前に、ロシアもまた朝鮮から後退せざるを得ませんでした。

こうした中で、朝鮮国内では永久中立を中心とした独立の運動が活発化します。

### 朝鮮の独立なるか

朝鮮におけるロシアの圧力が後退した1897年(明治30年)2月、ロシア公使館にあった国王は王宮に戻ります。

これを機会に同年10月、国王高宗を皇帝とし、国名も朝鮮国から大韓帝国と改めました。

ここに李朝鮮王朝五百年の歴史を終えます。長く続く清国からの冊封体制から脱し、国家としての自主独立の動きが見られました。例えば韓国政府は、ロシア軍人の顧問や教官をやめさせたり、他の国からの軍事教官や財政顧問を廃止し通告を行っています。

しかしこれらの動きも長くは続きません。またもや日本帝国の策動です。

### 禿鷹の餌食になるのか

日清戦争後、日本を含め列強帝国諸国は、あたかも禿鷹が群れるように、中国領土を分割し植民地にしようとします。

これに対し、1900年(明治33年)中国に大規模な「議和団」の蜂起が起きます。



島山和也「かけある記」  
前衆議院議員  
**はたやま和也**

届けなければいけない声があるから

参議院選挙が終わりました。日本共産党は比例で一議席を減らしたものの、紙智子比例候補が四選を果たしました。北海道選挙区では多くのご支援を寄せていただきながら議席に届かず、申し訳ありませんでした。

今回ほど、くらしの切実な声が寄せられた選挙もありませんでした。「年金が少ないから七十歳を過ぎてても仕事をしている」「月十七万円もの奨学金を借りている。返せるか不安」など、足を止めて演説を聞いてくださった方が多かったのも特徴的でした。

市民と野党が力を合わせる流れも強まりました。党の街頭演説で多くの方がマイクを握ってください、笑顔のエネルギーが広がりました。全体として改憲勢力に三分の二の議席を占めさせなかったことは大きな成果です。共闘の流れは止まらないし、止めてはならない。この道こそ、新しい政治をひらく道!

寄せられた切実な願いを国政に届けるため、これまで以上に紙智子議員との連携も強めます。市民の運動を広げるためにも力を尽くしたい。くらしが大変でも誰にも相談できない、仕方ないと思っただけであきらめている——こういう方に、日本共産党の姿がより見えるような活動をしていきたいのです。届けなければいけない声があるのです。どんな結果でも、何度も立ち上がってきたのが日本共産党。私も新たな決意で前へ進みます。